



かっぱに扮した子どもを囲み、大うちわをあおぐ男衆＝中津市耶馬溪町大島の伊勢山大神社



330年以上続く「かっぱ祭り」

## 中津市耶馬溪町大島 伊勢山大神社で「樋山路楽」

【中津】中津市耶馬溪町大島の伊勢山大神社で21日、330年以上前から続く「樋山路楽」(市指定無形民俗文化財、俗称かっぱ祭り)が奉納された。無病息災や五穀豊穡を祈願する伝統行事。

かっぱの姿で災いをもたらすようになった平家の落人の霊を鎮めたのが始まり―とされる。

樋山路地区住民らによる樋山路共有会の約20人が太鼓や笛、かねを奏でながら本殿前へ。祭文が読み上げられた後、かっぱに扮した子ども4人を男衆4人が取り囲み、はやしに合わせて大きなうちわをあおぐ独特の所作を繰り返した。

市内の旧下毛地域には同様の由緒を持つ祭りがあり、14日は亀岡八幡社(山国町中摩)で「白地楽」、22日は二瀬天満宮(耶馬溪町樋山路)で「二瀬楽」が奉納された。

(和田礼子)



〔問①〕 記事の内容を基に、この「かつぱ祭り」が行われている場所、正式名称、主な目的をそれぞれ答えましょう。

場所：

正式名称：

主な目的：

ほうじょう

〔問②〕 記事にある「五穀豊穰」とは具体的にどのような願いを意味しているのでしょうか、20字程度で教えてください。

〔問③〕 「かつぱ祭り」が330年以上も続いてきたのは、地域の人々がその歴史や伝統を大切にしてきたからです。あなたが住む地域の伝統的な行事やお祭りを一つ挙げ、これからも継承していくべきだと考える理由を書きましょう。